

# 農 研 速 報

平成 25 年 1 月 10 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所  
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402  
TEL029-239-7211 FAX 029-239-7306

生育状況（成熟期、水戸市）

県 名	収 穫 期		生 育 の 状 況	問 題 点	備 考
	本 年	平 年 対 比			
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ 10/19収穫	平年並み	<p>かんしょ生育期間（5月21日～10月19日）の気象は、平均気温が平年（直近5ヶ年）より0.5℃高く、日照時間が平年比127%、降水量が106%であった。本年度は8月が高温少雨で推移し、8月の平均気温は平年より1.2℃高く、日照時間が平年比149%、降水量が37%であった（水戸地方気象台観測値）。</p> <p>掘り取りは、平年並みの挿苗後151日に行った。 つる重は、ベニアズマが平年より重く、タマユタカは平年よりやや軽かった。 地下部の生育は、ベニアズマの1株当たり塊根数が平年より少なく、塊根1個重が重かった。タマユタカでは1株当たり塊根数、塊根1個重とも平年を下回った。上いも重は、ベニアズマが平年より多く、タマユタカは平年より少なかった。 澱粉含量は、ベニアズマが平年よりやや高く、タマユタカは平年並みだった。 サイズ別収量は、ベニアズマのL以下の収量が平年より少なく、2L以上の収量が非常に多かった。 タマユタカではS以下の収量は平年並みだったものの、M以上の収量が非常に少なかった。 塊根品質は、ベニアズマの曲がりとかびれの発生が多かった。また、両品種とも平年より条溝の発生が多く、A品率は非常に低かった。</p> <p>タマユタカで塊根の肥大が抑制されて収量が減少した。これは、タマユタカは無マルチ栽培のため、8月に乾燥条件が続いた影響を大きく受けたことによると考えられる。</p>	<p>・タマユタカの減収</p> <p>・両品種のA品率低下</p>	
	タマユタカ 10/19収穫	平年並み			

表1 収量調査(挿苗後151日、10月19日掘り取り)

品種名	つる重			総いも重			上いも重			1株当たり塊根数(上いも)			塊根1個重(上いも)			澱粉含量		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	286.9	96 (297.4)	134 (213.5)	380.9	120 (317.1)	114 (333.4)	374.3	124 (301.1)	115 (326.2)	2.6	73 (3.6)	81 (3.2)	359.4	168 (213.8)	139 (258.5)	24.5	104 (23.6)	106 (23.1)
タマユタカ	176.1	80 (220.5)	91 (193.2)	254.1	76 (336.4)	75 (339.3)	244.5	75 (325.7)	74 (330.9)	3.3	86 (3.9)	88 (3.8)	186.1	88 (211.3)	83 (225.0)	18.8	96 (19.5)	96 (19.6)

( )内は前年または平年の数値。平年値は平成19年～23年(5カ年)のデータの平均値。

塊根は直径3mm以上のもの、上いもは50g以上のものとした。

挿苗日:5月21日(ベニアズマは黒マルチ栽培、タマユタカは無マルチ栽培)、栽植密度:400株/a(畦間100cm×株間25cm)、施肥量(kg/a):N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.3-1.0-1.0

表2 サイズ別収量、品質区分および障害いもの発生率

品種名	サイズ別収量			品質区分				障害いもの発生率					
	S以下 (kg/a)	M+L (kg/a)	2L以上 (kg/a)	A品率 (%)	丸品率 (%)	B品率 (%)	C品率 (%)	裂開 (%)	皮脈 (%)	条溝 (%)	曲がり (%)	くびれ (%)	尻こけ (%)
ベニアズマ	38.3	183.3	159.2	11.7	0.0	47.6	40.7	2.0	0.0	9.7	23.4	40.4	5.6
平年比(%)	50	88	325	24	0	165	209	209	0	375	159	123	186
タマユタカ	108.4	145.6	0.0	1.7	60.3	23.1	15.0	2.8	0.0	10.8	3.3	9.4	4.2
平年比(%)	105	72	0	6	128	165	149	66	-	569	49	113	97

塊根1個重により S以下:200g未満、M+L:200g以上500g未満、2L以上:500g以上 で区分した時の収量

品質区分・障害いもの判定は茨城県青果物標準出荷規格による。いも個数%

平年比の「-」は平年値が「0%」であることを意味する



農研所内圃場における収穫期状況（10月19日撮影）



ベニアズマ



タマユタカ